

南翔

秋田県立秋田南高等学校同窓会会報
「南翔」 第66号

題字揮毫

鈴木 義信 氏(4期・東京支部) 書道家



中等部開校式

写真提供 (株)岩田写真 岩田幸久(21期生)

獨立自尊とグローバルリーダー

秋田県立秋田南高等学校・中等部
校長 佐藤 利正



同窓会員の皆さまには、日頃より深い母校愛をもって本校教育活動をご支援いただき、誠にありがとうございます。

今年度、各支部の総会に出席させていただいた際に、皆さまの中高一貫教育に対する大きな期待を感じ、校長として職責

の重さを幾度となく感じた1年でした。おかげさまで、4月6日に中高一貫教育校として第1回目の入学式を、10月8日に秋田南高等学校中等部開校式を、それぞれ盛大に行うことができました。12月27日には、体育館・特別教室・給食調理室・宿泊室等を備えた中等部棟が完成し、使用を開始しています。

生徒たちは、一つの校舎の中で、中高一貫の生活を送っております。入学式・学校祭・運動会はもちろん、一部の部活動も中高合同です。多感な年頃である、12歳から18歳までの集団の中で、多様な価値観に触れることで、中等部生はもちろん高校生にも、新たな感性や価値観が形成されるものと確信しております。

中高一貫教育校としての本校の教育理念は、グローバルリーダーの育成です。本校が考えるグローバルリーダーとは、グローバル化する社会の中で、仲間と協働して様々な課題を解決へと導いていく人材です。この理念

を実現するために、グローバルな視点と能力を、生徒たちが身につけることができるような教育環境を整えていきたいと考えております。

さて、本校初代校長信太四郎先生は、第1回入学式の式辞の中で、「獨立自尊」を教育方針として掲げられました。これは、急激な西欧化が進んだ明治期の日本の青年たちが、人に頼らず自己の人格と尊厳を保つことで、新たな日本を創造していくことを願った福沢諭吉翁の言葉であると理解しています。

「獨立自尊」は、明治維新で開国を経験した当時の若者のみならず、「第三の開国」とも呼ばれるほど急激にグローバル化が進む現代の若者にこそ、必要な精神です。日本や、ふるさと秋田について、理解を深め、さらに、自分は何者であるかという、アイデンティティを確立することは、グローバルな視点をもつための中心軸になると考えます。

秋田南高校創立55年目にスタートした中高一貫教育校においても、校訓の「獨立自尊」の精神を拠り所として、変化を見通せないグローバル社会を、たくましく生きていく生徒たちが育つ学校にしていきたいと考えております。その実現のために、今後とも同窓会の皆さまのさらなるご支援ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

秋田県立秋田南高等学校中等部開校式

2016年10月8日秋田県立秋田南高等学校中等部開校式が執り行われました。

中等部生徒たちの「グローバルリーダーを目指して～私たちの未来～」をテーマにしたパネルディスカッションのあと、坂東久美子前消費者庁長官〔元秋田県副知事〕に、中等部生徒たちに向けて「21世紀が求める人材」とのテーマで講演して頂きました。



坂東久美子元秋田県副知事による講演

その講演のなかで、「変化と多様性に満ちた21世紀を生きるために必要な力」として「グローバル」という興味深いお話をされていましたので、紹介させていただきます。「グローバル」とは「グローバル×ローカル」を合体させた造語でグローバルな視点を持ってローカルに活躍する、又はローカルな根をもってグローバルに活躍するという力だそうです。とても、興味深いお話を聞けて、



穂積志秋田市長による乾杯

生徒たちからも多くの質問が出て、非常に有意義な講演となりました。

その後、会場を変えて秋田キャッスルホテルにて記念祝賀会が執り行われました。

佐藤利正校長をはじめ、佐竹敬久知事、県議会議員、市議会議員、教育長などのそうそうたる方々による鏡開きと、穂積志市長(12期)による「乾杯!」が行われました。



OBによる演奏

途中卒業生の先輩たちのバンドの余興もありながら、会場は和気あいあいという雰囲気とお祝いムードで進められ、最後には全身全霊を込めた佐竹知事の全身万歳で中締めとなりました。

(万歳の写真の皆さんの表情を見ていただくと本当にうれしそうにしています。素晴らしい万歳でした)

21期 岩田幸久



佐竹知事による全身万歳



総合建設業／一級建築士事務所

株式会社

長谷駒組

代表取締役 長谷川 尚造
(25期E組卒)

〒010-0013 秋田市南通築地8-10
TEL.018(834)5445(☎) FAX.018(834)5437

秋田諸越粉 菓子種一式 そば粉製造元

株式会社 畠山製粉所

代表取締役 畠山 佳男
第19期F組卒

〒010-0942 秋田市川尻大川町12-58
電話 018(862)4858・FAX 018(862)8717
E-mail seifun@cna.ne.jp

北日本コンピュータサービス株式会社

URL : <http://www.kitacom.co.jp>

本社 : 〒010-0013

秋田市南通築地15番32号

TEL : 018(834)1811

FAX : 018(834)1815

東北支社 関東支社 関西支社
札幌営業所 福岡営業所



東海林 正晴(14・G)
味の素(株)アミノサイエンス事業本部
スポーツニュートリション部
防衛省自衛隊担当 マネージャー

1976年卒で第12期の東海林と申します。先日同窓会会報部会担当の先輩から原稿を依頼された際「今年還暦だしちっとも活躍していないのですが…」とお答えしたら「還暦の時くらいしか声掛けてやんないよ」と絶妙な脅迫を頂きました(笑)。思えば在学中生徒会長などと不遜な役回りで皆さんにご迷惑をお掛けしておきながら、その後母校に何ひとつ恩返しも出来ておりませんので、南高卒業後から現在に至る顛末をご披露し笑って読んで頂ければせめてもの救いとペンを執ることに致しました。

南高卒業後、進学を目指し受験するも全敗。今も尊敬してやまない松岡正樹先生から「在学浪人と思ってここを受験してみろ」と紹介されたのが国際商科大学(現東京国際大学)。運良く合格したものの在学浪人どころかすぐに麻雀に明け暮れる日々。2年生終盤、友人が国際関係論の原彬久(よしひさ)ゼミを受けるというので興味本位で一緒に面接試験会場へ。

結果、友人が落ちて小生が合格。これが後年、日本戦後政治学の第一人者となる原先生と、そして小生の伴侶となる森脇美千代と出会うことになるのですから人生は分らないものです。

1979年の春、大好きな幸男叔父が上京、晩飯に誘ってくれました。「正晴、オメ就職なんとするなや?」「秋田さ帰りてな」「馬鹿け! オメ秋田さ帰れば親父、兄貴の用で使われるだけだど。オメ、自分の人生はもっとおつきぐ考えれ!」と一喝を喰らい、これが効きました。

慌てて東京での就職活動開始。味の素社とも不思議な縁があったように思います。面接で菊池副部長(当時)から「君から聞きたいことはあるかね?」と問われ「こちらの社員は一流大学出身者が多いですが、小生がもし採用

されても学閥とかで困ったりしませんか?」と素直に聞いた途端、烈火の如く怒鳴られました。「俺は高卒だ。しかしそんなことなど気にせず毎日一生懸命仕事をしている。お前の様に親のスネをかじって入学させて貰った母校を卑下するような奴は当社にはいない」と真剣に怒ってくれたのです。それから20数年後、定年された菊池さんと再会する機会があり「あの時、何故私を採用したのですか?」とお聞きしたところ「当時自分には“人間とは何か”という勝負質問があって、その時君は“葛藤するもの”と答えたんだよ。俺は悩むことから逃げない奴が好きでねえ」。その記憶力と共にある、人を大切に思うとはこういうことだと教えられた今でも大切な思い出です。

会社では仙台～東京～大阪～東京と転勤し、業務用営業を中心に仕事をしてきました。関連会社2社への出向もかけがえのない経験となりました。現在は防衛省や警視庁を担当し、アミノ酸を通じ国防に関わる人々の体調管理に貢献する仕事をしています。定年後も嘱託社員としてこの仕事を続けたいと希望しているところです。

2015年、弊社に南高の後輩が入社しました。47期の吉田真琳(まりん)さんです。なんと今、彼女(ドラム)とバンドを組んで猛練習中です。こんな偶然にしては出来過ぎな還暦を迎えられるのもやはり南高校生であればこそですね。感謝。



南高の後輩吉田真琳さん(47期)と一緒に

株式会社 中村産業

代表取締役社長 中村 純也 (第25期F組卒)

〒010-0851 秋田市手形字中谷地319
TEL018-832-8361 FAX018-832-8365

ガス器具、住宅設備機器、住宅リフォームのことなら

もっと快適 ずっと幸せ
ホームテック株式会社
FROM HEART FROM TECHNOLOGY Home-Tec

代表取締役 進藤 史明 (第29期A組卒)

〒010-0021 秋田市榎山登町6-15
TEL:018-835-2211 FAX:018-835-5950

kosharu&Mise
Hand Made Jewelry Shinoda

代表取締役 篠田 大祐 (26期)

株式会社 こしやる店 篠田宝飾

〒101-0001
秋田市中通6丁目19-3
Tel.018-836-5486
営業時間9:30~19:00
毎週月曜・第3日曜定休

こしやる店 検索

男鹿支部だより

秋田南高等学校同窓会男鹿支部総会が平成28年10月8日18時から男鹿市船川の割烹「おとみ」において開催されました。今回の総会ではご多忙中のところ、ご来賓に学校長の佐藤利正様、南翔会会長の山岡緑三郎様、副会長の沢井澄夫様、会報部会の雅楽代昭子様、秋田市北部支部長の土崎俊成様、野球部OB会長の柴野精允様のご臨席を賜りました。

協議案件が大変スピーディに進み、お陰様で早めに懇親会に移ることができました。仙北屋支部長の挨拶では1週間前に行われた中等部開校式の模様や感想について紹介され、企画のパネルディスカッションでの中等部の意見発表にグローバルリーダーへの資質の向上を強く感じた、ということでした。又、今回は山岡会長が支部旗を贈呈して下さり早速掲示しました。以前の旗に比べ大分



大きくカラフルなものになり会員の満足感が伝わりました。

更に南翔会長のご挨拶、佐藤校長から学校の現状などのご挨拶をいただきました。校長先生の挨拶の中で特に印象に残ったことは、現在の中等部の生徒が過ごす6年間で素晴らしいと感じるだけではなく、その生徒が親になった時やはり南高校に子供を入学させたいと思えるようなそんな素晴らしい学校であり続けたい、ということでした。

和やかな雰囲気の中、懇親会は進み、今回も6期の武内前会長から銘酒「真山」が提供され、料理では男鹿でとれた底引きによる「ハタハタ」や「紅ズワイ蟹」などに舌鼓を打ちました。

昔話に花が咲き、話が盛り上がる中、あっという間に時間が過ぎ今後の野球部の甲子園出場に期待を寄せつつ総会は閉会となりました。



本荘・由利支部だより

平成8年に設立され、旧本荘市と由利郡10町で形成される広域な支部です。昨年11月9日に開催された第8回支部総会のもようを紹介します。(本荘・由利支部会報より)

秋田南高校同窓の皆様、今回第8回目の本荘・由利支部総会が平成28年11月9日由利本荘市ホテルアイリスにて、無事開催されました事をご報告申し上げます。当日は悪天候の為JR運休等不測の事態がありましたが、本部からの御来賓の畠山佳男副会長、佐藤利正校長にも御出席いただき、上程した報告・議案は滞りなく可決・承認いただきました。引き続き懇親会では今回初めて出席された方、旧知の方、ご来賓の皆様と和やかに歓談し母校での思い出に花を咲かせました。今回出席出来なかった皆様には次回総会への参加をお待ちしております。また転勤や引越など由利本荘市、にかほ市にいられた同窓をご存知の方は是非事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

では次回総会でお目にかかれることを楽しみにしております。

本荘・由利支部支部長 山田耕一郎

.....

第8回本荘・由利支部総会が皆様のお力添えをいただいたおかげで、無事開催されました。ここにご報告と感謝を申し上げます。

懇親会の際、3期の青木氏より「鳥海山にブナを植える会」の紹介がありました。地元貢献と会員の総会以外に懇親を高める場として良いのでは、ということでした。

終わりに支部の発展に対し、総会の開催日時場所など、ご意見ご希望を下記の事務局まで、どしどしお寄せください。お待ちしております。

事務局 由利本荘市大楯町4-13
0184-22-0172 大嶋繁夫





南蹴魂

～秋田南高校サッカー部OB会～

2017年9月9日(土)18時～
秋田ビューホテル
「H29年度OB会総会／懇親会」開催

秋田南高校サッカー部OB会
会長 安井 誠悦 (14期B組卒)
URL: <http://nankofoot.com>
e-mail: info@nankofoot.com



不動産の総合プランナー
ベスト・プラン株式会社
www.best-plan.net

代表取締役 **法 吉 大 輔**
第29期 D組卒

〒010-0003
秋田市東通3丁目11番5号 コンフォート広面
TEL 018-874-7266
FAX 018-874-7267

～自然を大切に～



山岡工業株式会社

代表取締役 **山 岡 緑三郎**
第3期C組卒

本 社／〒010-1415
秋田市御所野湯本二丁目1-5
TEL 018(826)1616
FAX 018(826)1565
営業所／北秋田市・横手市・仙北市
<http://www.yamaoka-ind.co.jp/>

母校だより



運動部活動

硬式野球部

秋季高校野球中央地区大会

準優勝 5-6由利工

秋季高校野球県大会

2回戦敗退 0-7(7回コールド)角館

サッカー部

第95回全国高校サッカー県大会

準々決勝敗退 1-1(PK5-4)西目

ラグビー部

第96回全国高校ラグビー県予選

2回戦敗退 85-5 金足農

バスケットボール部

全国高校選抜バスケット県予選

女子 2回戦敗退 50-99 湯沢翔北

男子 準々決勝敗退 59-81 能代工

バレーボール部

第69回春高バレー県予選

男子 準々決勝敗退 0-2 増田

陸上競技部

第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」

成年女子 5000m競歩 13位 竹中 奈央

全国高校駅伝県予選

女子 7位(南條・大関・池田・小玉・竹中)

東北高校新人陸上競技大会

女子 100mH 5位 工藤 菜々

山岳部

第67回県民体育大会 2位

ハンドボール部

第40回東北高等学校選抜大会秋田県決勝大会

男子 3位

全県新入戦

サッポロ 1部 ベスト4 0-0 PK2-3 新屋

陸上競技部

女子 1500m 7位 南條 佑佳 3000m 7位 南條 佑佳

100mH 1位 工藤 菜々

男子 110mH 8位 妹尾 翔平 400mH 8位 小林 亮大

5000m競歩 8位 田近 寛太

400mリレー 8位(小林・高橋・茂木・妹尾)

ハンドボール部

3位 (決勝大会順位決定戦) 25-24 大曲

柔道部

男子個人60キロ級 3位 工藤 龍飛

ソフトテニス部

男子団体 2回戦敗退 0-2 花輪

アーチェリー部

女子 1位 伊藤 佳菜 2位 黒木 千尋

3位 秋山 温純

男子 1位 佐藤 圭祐 2位 三浦 泰輔

剣道部

男子団体 1位 男子個人 2位 及川 拓

バトミントン部

女子団体 2回戦敗退 0-3 横手城南

個人2部複 3位 (安田 里菜・乾 真緒)

男子団体 2回戦敗退 2-3 秋田北鷹

個人2部単 3位 梅木 結人

バスケットボール部

男子 3位 決勝リーグ

68-88 平成 57-82 能代工 74-61 秋田工

水泳部

女子

総合 5位

50m自由形 5位 鎌田七海 8位 佐々木捺子

400m自由形 7位 佐々木優香

200m自由形 7位 鎌田七海

800m自由形 1位 佐々木優香 2位 原田侑奈

200m背泳ぎ 5位 大友優実

200mバタフライ 4位 斉藤 遥

400mリレー 6位(鎌田・大友・佐々木(優)・佐々木(捺))

400mメドレーリレー 6位(大友・原田・鎌田・佐々木(捺))

男子

総合 8位

200m自由形 8位 伊藤 和哉

400m自由形 4位 伊藤 和哉

200m平泳ぎ 5位 鈴木 駿

100m平泳ぎ 3位 鈴木 駿

800mリレー 6位(伊藤・鈴木(康)・鈴木(里)・鈴木(駿))

400mリレー 6位(鈴木(駿)・鈴木(里)・鈴木(康)・伊藤)

400mメドレーリレー 6位(鈴木(里)・鈴木(駿)・伊藤・鈴木(康))

山岳部

団体 1位

個人総合 2位 畠山 奨汰 3位 佐々木智也 5位 竹村 竜一

種目別 体力 3位 畠山 奨汰

読図 3位 竹村 竜一

知識 2位 佐々木智也 3位 畠山 奨汰

天気図 2位 佐々木智也、竹村 竜一

文化部活動

第68回秋田県高等学校英語弁論・暗唱大会

弁論の部 1位 原田 雄生

あきた県民文化芸術祭2016

秋田県青少年音楽コンクール第20回記念大会

声楽部門 金賞 武藤 沙和

第24回県高校総合文化祭

プログラム表紙最優秀賞 三浦 未佳

高校生ビブリオバトル秋田県大会

優勝(全国大会出場)「伊勢物語」能美 寧々

平成28年度秋田県高等学校総合文化祭総合美術展

美術部

デザイン部門 推奨(特賞)「3-B」佐藤 紅里

推奨 「モラトリアム」松田 ひなの

入選 伏見 萌、齋藤 あみ、乾 菜月、

佐藤 彩月、白旗 優帆、

昆野 真夕、斉藤 萌加

写真部

推奨 小松 千夏、小林 和亮

書道部

推奨 鷺谷 京香、筒井 佳奈、佐々木 真緒

第79回秋田書道展

条幅の部 1年 3等 進藤 颯斗

3等 鷺谷 京香

2年 褒状 入選 嶋崎 琴音

文芸部

第34回県高校文芸コンクール

文芸誌 第1席 「岬」第54号

詩 第1席 鈴木 太一 第3席 石澤 茜

吹奏楽部

全日本アンサンブルコンテスト 第39回秋田県大会

金賞 フルート八重奏、サクソフォン四重奏

全日本アンサンブルコンテスト 第44回東北大会

金賞 フルート八重奏 銀賞 サクソフォン四重奏

企業経営のパートナー

川村行政書士事務所

所長 川村 良喜

第4期A組卒

秋田市泉中央六丁目5番18号

シャロム泉1F

TEL 824-8171 FAX 865-5383

税務のご相談は……

株式会社 宇佐見 経営

税理士 宇佐見 康伸 (4・A)

税理士 宇佐見 昇平

事務所／秋田市中通五丁目6-33

TEL (018) 832-0845

FAX (018) 832-8195



Salesforce 認定上級デベロッパー

株式会社

エイチ・アイ・ティ

代表取締役 川合 俊昭 5期E組卒

システム1課長 瀬川 邦好 23期G組卒

総務部主任 渋谷 暁子 31期J組卒

〒010-0951 秋田市山王3-1-7 東カンビル7F

TEL018-785-5515 FAX018-895-5516

<http://www.a-hit.co.jp>

ソフトウェア開発 ● ネットワーク監視システム ● 議会会放映システム

恩師は今

就任S38.4
離任S49.3

佐藤 正 先生

南高と因縁、数々生まれけり

私は何の縁か南高には数々の因縁があります。そもそも、私の高校卒業証書はれっきとした南高校発行のものです。1948年のGHQ(General Headquarters=連合軍総司令部)の主導による学制改革をご存知の方ならその事情がすぐお分かりでしょうが、一応簡単に触れておきます。

私が小学校から入試を経て中学校に入学した頃は中学校は原則5年制でした。それが、件(クダ)の「学制改革」で中学が3年制、高校も3年制に切り替わり、改革当時中学4年生だった私は翌年に自動的に高校2年(秋田南高校=現秋田高校)に編入されました。従って、高卒時には南高の卒業生の身分だったわけです。見方を広げますと現在81~86歳の我が年代は『元祖中高一貫校』を経てきていることになります。

次に挙げてよい因縁は、南高の校章です。そのデザイナーだった秋田大学美術科の阿部米蔵教授(10数年前没)は私が3~4歳当時に我が家に短期間下宿し、彼のあぐらの中に私がトッブリと抱かれて可愛がられた記憶があります。のちに私が秋田大学に入学後もキャンパスや通勤・通学の車中でいつもニコニコして声を掛けてくれました。

又、現在の南高の佐藤利正校長の生家は私の生家から車で10分のところで、専門教科も私と同じ英語、勤務経歴の中に秋田高校がある点も同じ、部活顧問も同じく山岳部、そして、昨年飲みながら話が出たのですが二人とも若い頃に同じ場所で蕨取りをしていたことも判明しました。



最後になりますが、最も濃密な南高の同窓生たちとの因縁になります。私が定年退職して2年ほど経ってから、そして、谷川岳に登って10日程経ってからのことです。が、野生動物を宿主とするウイルス性肝炎で入院したことがあります。その際に、超音波検査で病を見付けてくれたのが南高の5期生の女性、入院中色々世話してくれたのが同様に2期生の看護師、退院後医療保険の手続きを代行してくれたのも2期生の女性、という具合に3人の南高同窓会員に命を救って頂きました。

皆さんは石坂洋次郎作の「青い山脈」という小説を読むか、又は映画を見たことがあるでしょうか?東北の中都市の高校の生徒達と教師のほのぼのとしたやりとりを描いたベストセラーでした。私が50~60歳になってから振り返って見ると、南高勤務の前半がまさに「青い山脈」でした。荊妻(けいさい)も時々、「青い山脈だったねえ」と懐かしんでますから少なくとも私の一人合点ではありません。では、南高版「青い山脈」の実態はと言いますと、私を含めて10数人でサイクリングに出掛け、一泊でスキー旅行を楽しみ、仲間と誘い合っの太平登山等がほんの一部になります。現在の高校生ならば教師を煙たがってなかなか行動には移せないことをごく普通に楽しんでいるのが表情に出て、大人である私も引率責任はそっちのけでホノボノ感に浸っていた記憶があります。

申し遅れましたが、私は南高で1963~1974の間に英語を担当し、部活ではテニス5年と陸上競技6年を過ごしました。今年の10月で86歳になります。現在は陋屋に老夫婦というそれなりに相応しい組み合わせで住み、小登山・小旅行・小宴会・山菜採り(熊同行はお断り)等で残り少ないヒマを潰しております。全てに小が付くのも年齢のなせるわざですが、孫たちはこの「小」は「正」と書くのが正解だよと言ってくれます。

教師の鑑とは生徒と苦楽を共にするのが通例でしょうが、私みたいな「楽」だけを共有したという果報者教師も時にはいるのでしょうか。



「グローバルリーダーの育成」をテーマに掲げた中高一貫校がついに開校しました。

この瞬間に同席させていただけたことを、とても「記念」に感じるとともに、ふと自分の昔のことを思い出しました。

南高校時代、英語の歌を歌うことが好きだったので、英語だけはいつもトップでした。大学時代に何故かプロミュージシャンを目指して渡英(ロンドン)し、ライブハウスでステージに立ちながらトイレ掃除係で働かせてもらっていた時期がありました。

全く通用せず6か月ほどで帰国(大笑)してしまいましたが、世界に挑戦したというのは私にとっても良い経験になりました。

その後は、演劇や舞台、ミュージカルの手伝いをしていましたが、いつでもどうしても視線が海外に向かっていました。

父が病気のため、やむなく秋田に帰って写真館を継ぐ

ものの、フォトグラファーとして早速アメリカに渡って写真技術を学び、韓国・中国から小物・衣装・商材を毎年、仕入れたりして今に至ります。

当時は「グローバル」という言葉は無かったと思いますが、坂東さんの講演の中に出てきた「グローバル」(グローバル×ローカル)を実践している自分と、そしてこれから世界に羽ばたいていく中等部の後輩たちを見て、なんだかとても嬉しい気持ちになりました!

「グローバル」ってとてもハードルが高いようにも思われますがそんなに世界は遠く無いんです。

後輩達! 世界が君たちを待っているぞ!

楽しみにしてます。頑張ってくださいね!

(岩田幸久 21・B)

同窓会
事務局

〒010-1437 秋田市仁井田緑町4の1
秋田県立秋田南高校内
電話 018-833-7431



ICTでお客様の未来を応援
spirit of innovation

株式会社 フィデア情報システムズ

代表取締役 菅原 晟 (第1期F組卒)

取締役 金澤 邦雄 (第14期I組卒)

取締役 三河 雅則 (第18期G組卒)

卒業生22名

〒010-0951 秋田市山王三丁目4番23号

TEL:018-883-0200 <http://www.fisys.jp/>

三次元機械設計

大山寛康設計事務所

代表 大山寛康 (I・G)

〒243-0017 神奈川県厚木市栄町1-2-2-413

TEL/FAX 046(296)6844 携帯:090-6123-7388

E-mail:hiro2006@vanilla.ocn.ne.jp

今時代は電子書籍

iPad/iPhone用書籍アプリ制作・販売代行

株式
会社

くまがハ印刷

代表取締役 熊谷正司 (4・A)

秋田市中通六丁目4-21

☎018(833)2220(代) FAX(833)6732